

重点施策別評価表

1-1 図書館資料の充実

項目	29年度目標	達成値	達成率	事業効率性 (事業効果)	今後の方向性	自己評価	外部評価
1 市民一人当たりの資料点数の充実	600,000 点	570,768 点	95.13 %	良い	継続・維持	3	3.0
2 貸出点数の増加	1,000,000 点	851,942 点	85.19 %	普通	継続・維持	2	2.3
3 子どもの読書推進のため、ティーンズ向けの図書、絵本・紙芝居を含む児童図書の充実を図る	2,635 点	2,952 点	112.03 %	良い	継続・維持	5	5.0
4 博物館と連携し、郷土資料の収集を図る	5 種	4 種	80.00 %	良い	継続・維持	4	4.0
5 市民要望や市民の関心が高い健康・福祉・環境・経済問題等の資料の充実を図る	6,520 点	6,955 点	106.67 %	良い	継続・維持	5	5.0
6 年度更新する資料や高価な資料、レファレンスサービスに必要な参考図書資料の購入に努める	175 点	286 点	163.43 %	良い	継続・維持	5	5.0
7 視力の弱い方、高齢者の読書推進のため大活字本を購入する	110 点	119 点	108.18 %	良い	継続・維持	5	4.9
8 NPOの仲介により、市内企業6社から雑誌38種の寄贈を受ける	38 種	34 種	89.47 %	普通	継続・維持	4	4.0
9 在住外国人の生活支援のための外国語資料の収集	2,000 点	2,014 点	100.70 %	良い	継続・維持	5	5.0

★自己評価

評価項目番号	評価の理由
1	蔵書点数は年度当初(564,743点)に比べ6,025点増加し、市民一人当たりの蔵書数は570,768点/148,592人(平成30年4月1日現在人口)≒3.84冊で、年度当初に比べ、ほぼ横ばいである。
3	絵本、紙芝居については、経年劣化した絵本の買い替えも含め、概ね順調に購入できていることから、5とした。
4	「入間市博物館」の発行物については、平成29年度に博物館が発行したものはすべて受入れしていることから、5とした。
5	市民に関心が高い資料は、例年どおり、幅広いジャンルで購入が出来た。
6	毎月、毎年発行されている参考図書類は、例年どおり、購入出来た。
7	大活字本は、例年どおり、購入出来た。
9	目標点数を上回っていることから、5とした。

評価項目番号	課題
1	司書資格職員の配置を人員要求しているが、司書資格職員が人事異動により減少している現状がある。司書率は目標の50%をクリアしていますが、昨年からは増加しておりません。(金子) 司書率50%という目標に達していませんので、司書資格取得への意識付けを行っていききたいと思います。(藤沢) 準社員の司書資格取得への意欲をどう引き出すかが課題です。(金子・藤沢)
2	館内のレファレンス資料を使いこなせない部分もあった。
3	録音資料作成にあたって、1点音訳には難しい資料を依頼してしまった。
4	14:00の開始時間に、子どもがいないことがある。ぬいぐるみを使って呼び込みするなど、さらなるPRに努めたい。(本館) 毎週水曜、土曜の2回開催しており、ボランティア団体と協力して順調に実施しています。ただ、参加人数が少ない時があるので集客が今後の課題です。(西武) おはなし会回数は、休館日以外はすべて実施しましたが、悪天候で参加者ゼロが2回ありました。(金子)
5	夏のおたのしみ会は、土曜に開催するため事前に団体参加の人数を把握することが難しい。(金子)
6	ボランティア会の立ち上げができておらず、研修会も未実施のため、1とした。
13	本館閲覧室は自習の利用者が中心で、図書館資料の閲覧が多くないものと見受けられる。

評価項目番号	改善点
1	司書資格講習のための予算要求を今後も継続したい。 司書資格の取得については、準社員への責任分担を明確にしなが資格取得への意識付けを図ります。(金子) 準社員への司書取得支援を行うとともに、退職者が出た時には司書資格保有者の採用を行っていきます。(藤沢)
2	館内のレファレンス資料で情報の古いものは新しくできたらいいと思う。
3	音訳を依頼する前によく吟味したいと思う。
4	現在は平日のおはなし会を行っていないので、参加できない子どもがいる。そのため、来年度からは、第3火曜日に定期的に行うことにする。(本館) おはなし会の開催時、参加人数が少ない時がありますので、もっと告知に力をいれたいと考えています。(西武) おはなし会は回数、参加者とも限界値に近く、今後は分館外への支援等を視野に活動を展開することも検討したいと思います。(金子)
5	夏のおはなし会では、今年始めてちょっとこわいおはなし会を開催しましたが、今後についてはボランティア団体様と協議して考えたいと思います。(西武) 夏のおたのしみ会は、保育所・学童・母子愛育部等との連携を図りながら日程調整を行いません。(金子)
11	自主事業は児童に偏りがちなので、一般向の比較的若い世代へのイベントも検討していききたいと思います。(金子・藤沢)

★外部評価	
評価項目番号	評価の理由
1	司書資格職員数は目標に達してはいないものの、悪い数値ではない。
11	分館での自主事業は開催数よりも、その内容の方が大切に思う。各館それぞれ、工夫されたチャレンジも多く、評価できると思う。 指定管理になり、自主事業の開催数・内容の充実(バラエティに富んでいる。)
13	本館の閲覧席開放事業による利用者は全体の約7割と見受けられる。 95%の達成率は少子高齢社会の現状を考えると3としてよいと考えます。

評価項目番号	課題
	特に意見はありませんでした。

重点施策別評価表

1-2 魅力ある図書館づくりの推進

項目	29年度目標	達成値	達成率	事業効率性 (事業効果)	今後の方向性	自己評価	外部評価
1 人事異動によって司書資格職員数を増やす	30 人	29 人	96.67 %	良い	継続・維持	4	4.0
2 参考調査研修など研修の受講に努める	1 回	1 回	100.00 %	良い	継続・維持	5	5.0
3 視覚障害者への録音資料を新規に作成し、提供する	3 点	3 点	100.00 %	普通	継続・維持	5	5.0
4 おはなし会年間回数350回(本館・西武・金子・藤沢)	350 回	351 回	100.29 %	良い	継続・維持	5	5.0
5 夏、冬のおたのしみ会開催年1～2回(本館・西武・金子・藤沢)	5 回	5 回	100.00 %	良い	継続・維持	5	5.0
6 図書館ボランティア研修会の実施年1回	1 回	0 回	0.00 %	普通	継続・維持	1	1.0
7 人形劇の実施	80 人	59 人	73.75 %	良い	継続・維持	4	4.0
8 子ども読書推進のため「あれこれブックガイド」の配布	16 校	16 校	100.00 %	良い	継続・維持	5	5.0
9 子ども読書推進のため「読書ラリー」の実施(本館・西武・金子・藤沢)	100 人	290 人	290.00 %	良い	継続・維持	5	5.0
10 児童文学講演会	100 人	107 人	107.00 %	良い	継続・維持	5	5.0
11 分館3館で自主事業の実施	35 事業	36 事業	102.86 %	良い	継続・維持	5	5.0
12 本館、西武分館、藤沢分館の夜間利用者数の増に努める	440 人	416 人	94.55 %	良い	継続・維持	4	4.0
13 本館閲覧席開放事業を継続し、利用増を図る	20 席	19 席	95.00 %	良い	継続・維持	4	3.6

★自己評価

評価項目番号	評価の理由
1	今年度新たに1名取得いたしましたして11名となり司書率が55%となりました。現在、他2名も通信で履修中です。(西武)
2	県内の図書館職員とともに課題に取り組みレファレンスに関する知識を得ることが出来た。
3	3/15にボランティアグループの方々とお会いする機会を設け、デジ資料の作成依頼を出す時期など今後のことについて話し合うことができました。
4	回数については、本館では順調に実施できているので、5とした。今年度途中から、読み聞かせに集中できるよう、おはなしのへやの壁を半分閉めて行うようにしたところ、落ち着いて聞いてもらうことができた。11月～3月にかけて、平日のおはなし会を実施したところ、親子での参加がみられ好評であった。 おはなし会の回数は前年同様の開催数でしたが、参加者は160%増となりました。(金子)
5	上半期は金子のみ、下半期全館で実施する予定です。 冬のお楽しみ会の1回だけ開催しています。例年夏は開催していませんが、今年は夏休みにちよっとこわいおはなし会を開催いたしました。(西武) 夏のおたのしみ会は、例年夏休み最初の土曜日開催でしたが、他の行事とのバッティングを避けて第2土曜日に変更し参加者が180%増となりました。(金子)
8	「あれこれブックガイド」は例年通り、市内の全校児童へ配布することができた。掲載された本には予約が多数入り、ブックガイドとして十分に活用されていたと思われる。
11	月に1度のペースで必ず自主事業を実施しております。(西武) 事業に関しては、上半期だけでも10事業ほど実施しており、うち4事業が公民館との共催事業となっている。(藤沢)
12	分館3館の夜間利用者は増加している。

評価項目番号	課題
1	司書資格職員の配置を人員要求しているが、司書資格職員が人事異動により減少している現状がある。司書率は目標の50%をクリアしていますが、昨年からは増加しておりません。(金子) 司書率50%という目標に達していませんので、司書資格取得への意識付けを行っていききたいと思います。(藤沢) 準社員の司書資格取得への意欲をどう引き出すかが課題です。(金子・藤沢)
2	館内のレファレンス資料を使いこなせない部分もあった。
3	録音資料作成にあたって、1点音訳には難しい資料を依頼してしまった。
4	14:00の開始時間に、子どもがいないことがある。ぬいぐるみを使って呼び込みするなど、さらなるPRに努めたい。(本館) 毎週水曜、土曜の2回開催しており、ボランティア団体と協力して順調に実施しています。ただ、参加人数が少ない時があるので集客が今後の課題です。(西武) おはなし会回数は、休館日以外はすべて実施しましたが、悪天候で参加者ゼロが2回ありました。(金子)
5	夏のおたのしみ会は、土曜に開催するため事前に団体参加の人数を把握することが難しい。(金子)
6	ボランティア会の立ち上げができておらず、研修会も未実施のため、1とした。
13	本館閲覧室は自習の利用者が中心で、図書館資料の閲覧が多くないものと見受けられる。

評価項目番号	改善点
1	司書資格講習のための予算要求を今後も継続したい。 司書資格の取得については、準社員への責任分担を明確にしなが資格取得への意識付けを図ります。(金子) 準社員への司書取得支援を行うとともに、退職者が出た時には司書資格保有者の採用を行っていきます。(藤沢)
2	館内のレファレンス資料で情報の古いものは新しくできたらいいと思う。
3	音訳を依頼する前によく吟味したいと思う。
4	現在は平日のおはなし会を行っていないので、参加できない子どもがいる。そのため、来年度からは、第3火曜日に定期的に行うことにする。(本館) おはなし会の開催時、参加人数が少ない時がありますので、もっと告知に力をいれたいと考えています。(西武) おはなし会は回数、参加者とも限界値に近く、今後は分館外への支援等を視野に活動を展開することも検討したいと思います。(金子)
5	夏のおはなし会では、今年始めてちょっとこわいおはなし会を開催しましたが、今後についてはボランティア団体様と協議して考えたいと思います。(西武) 夏のおたのしみ会は、保育所・学童・母子愛育部等との連携を図りながら日程調整を行いません。(金子)
11	自主事業は児童に偏りがちなので、一般向の比較的若い世代へのイベントも検討していききたいと思います。(金子・藤沢)

★外部評価	
評価項目番号	評価の理由
1	司書資格職員数は目標に達してはいないものの、悪い数値ではない。
11	分館での自主事業は開催数よりも、その内容の方が大切に思う。各館それぞれ、工夫されたチャレンジも多く、評価できると思う。 指定管理になり、自主事業の開催数・内容の充実(バラエティに富んでいる。)
13	本館の閲覧席開放事業による利用者は全体の約7割と見受けられる。 95%の達成率は少子高齢社会の現状を考えると3としてよいと考えます。

評価項目番号	課題
	特に意見はありませんでした。

重点施策別評価表

1-2 魅力ある図書館づくりの推進

項目	29年度目標	達成値	達成率	事業効率性 (事業効果)	今後の方向性	自己評価	外部評価
14 入館者数の増	700,000 人	706,830 人	100.98 %	良い	継続・維持	5	4.9
15 ウィークエンドシネマ等による映画鑑賞機会を提供する	28 回	28 回	100.00 %	良い	継続・維持	5	4.9
16 ホームページメンテナンスを毎月実施する	12 回	6 回	50.00 %	やや悪い	継続・維持	2	2.0
17 パスワード登録者数	3,000 人	4,794 人	159.80 %	良い	継続・維持	5	5.0
18 毎月1日号に図書館関連記事を掲載する	12 回	12 回	100.00 %	良い	継続・維持	5	5.0
19 図書館関連の特集記事を年1回以上掲載する	1 回	1 回	100.00 %	良い	継続・維持	5	5.0
20 図書館だよりの発行	4 回	4 回	100.00 %	良い	継続・維持	5	5.0
21 金子分館だよりの配布	12 回	12 回	100.00 %	良い	継続・維持	5	5.0
22 FM茶笛本のあるぐらし 週1回出演	52 回	50 回	96.15 %	良い	継続・維持	4	4.0
23 入間ケーブルテレビ(ハロー-いるま)への出演(本館)	8 回	7 回	87.50 %	良い	継続・維持	4	4.0
24 年2回モニタリングにより運営状況を監査する	2 回	2 回	100.00 %	良い	継続・維持	5	5.0
25 年3回人件費支出状況の確認	3 回	3 回	100.00 %	良い	継続・維持	5	5.0
26 アクションプランに基づく自己評価を行い、その後外部評価として図書館協議会による評価を行ったあと市民に公表する	1 回	1 回	100.00 %	良い	継続・維持	5	5.0

★自己評価

評価項目番号	評価の理由
15	昨年同様、毎月2回は確実に実施しています。2ヶ月に1回は邦画を入れていきます。(西武)
16	パソコン版ホームページの行事事内について、各館からの意見を元に、より見やすいホームページに改善することができた。
17	図書館システムの変更により、利用者自身のパソコンやスマートフォンから簡単に登録できるようになったため、既に目標値をほぼ達成された。
18	イベントについて、市報を見て問い合わせたという連絡が多数あり、十分に周知されていると思われる。
20	計画通りに発行できたため、5とした。例年とレイアウトを変更したり、読み聞かせボランティアグループの記事を掲載したりして、より親しみやすい紙面に心掛けたため、館内で配布する枚数の増加につながった。また、「愛読者キャンペーン」の応募者数から、愛読者が増加したことが伺えた。
21	金子分館だよりは、金子支所長、金子公民館長、金子小・中学校長、文化協会会長にもおすすめ本の寄稿をいただき、ご協力いただき、予定通り実施できている。(金子)
22	市役所(本庁)でも放送が流されたので図書館外の方の意見を聞きやすくなった。イベントや展示本の告知もしっかり行うことができた。1ヶ月1回程度で出演しており、今年度より常勤社員全員で1回ずつ担当しています。(西武・藤沢)
24	モニタリングは予定通り実施できている。企画課からも図書館のモニタリングは他の模範となるとの評価を受けている。
25	人件費調査は予定通りできている。
26	予定通り実施できたため。

評価項目番号	課題
14	入館者数は減少傾向にある。
16	行事案内等の更新の見落としや、アップロード予定ファイルの更新が滞ってしまった。特にトップページから先のページに関しては、チェックが行き届いていない。
18	広報課より分館のイベント写真を市報に掲載したいと問い合わせがあった際に、本館では写真データを持っていないため、分館に問い合わせる必要があり、対応がその分遅れたことがあった。
20	全館分の記事を、本館で編集するため、全館分の記事を集約するのに時間がかかる。
22	紹介した本の予約が増えないことも多かった。 FM茶笛への聴取者の方の反響なりご意見が聞ければいろいろと今後の反省材料になるかと思います。(金子)

評価項目番号	改善点
14	入館者増加の方策を検討したい。
16	現システムになって以来、庁内ネットワークからの切り離しによるものも含め、管理しなければならない箇所が煩雑になっている。マニュアルを作成し、複数の目で定期的にチェックする体制を構築する必要がある。
17	新規利用者に対する利用案内の説明時などに、パスワード登録の有用性についての説明を積極的に進めたい。
18	広報課から記事の依頼があった時に備えて、特集記事なども含めてあらかじめ原稿や写真の準備をしておきたい。
20	事業の案内だけでなく、本の紹介や図書館についての案内など、より充実させた内容に努めたい。「愛読者キャンペーン」は、応募者は増加したが、プレゼントとなる雑誌の付録が減少しているため、今後、継続していくか検討する必要がある。
21	金子分館よりは、11月から全戸配布ができるようになりました。(金子)
22	視聴者の意見をより取り入れる事が出来れば良いと思う。
23	ケーブルテレビへの出演で目標は8回としていたが、広報課の都合により7回となったため、上半期は2回、下半期は5回の出演となった。

★外部評価

評価項目番号	評価の理由
14	入館者数と資料貸出し点数は相関関係にあると思うが、一定の入館者は達成しており評価できる。
15	上映一回あたりの来場者も多く、来場者にも評価されていると思われる。
17	目標値に達しているため。
18	目標値に達しているため。
19	目標値に達しているため。
25	目標値に達しているため。
26	目標値に達しているため。

評価項目番号	課題
	特に意見はありませんでした。

重点施策別評価表

2-1 家庭・地域の教育力の向上

項目	29年度目標	達成値	達成率	事業効率性 (事業効果)	今後の方向性	自己評価	外部評価
1 図書館見学の実施(市内小学3年生)	16 校	15 校	93.75 %	良い	継続・維持	5	5.0
2 利用教室の実施(市内小学2年生)	16 校	15 校	93.75 %	良い	継続・維持	5	5.0
3 プチ一日図書館員(本館)	12 回 120 人	8 回 94 人	66.67 % 78.33 %	良い	継続・維持	3	3.0
4 中学生社会体験チャレンジ事業の実施(本館・西武・金子・藤沢)	11 校 44 人	12 校 59 人	109.09 % 134.09 %	良い	継続・維持	5	5.0
5 学校図書館ボランティア研修会	2 回 80 人	2 回 50 人	100.00 % 62.50 %	良い	継続・維持	5	5.0
6 移動図書館の学校定期巡回(毎週1回)	8 校	8 校	100.00 %	良い	継続・維持	5	5.0
7 配本サービス(保育所、学童保育室、学校他)	35 箇所	39 箇所	111.43 %	良い	継続・維持	5	5.0
8 全庁的な子育て支援策としてのブックスタート事業の調査研究及び庁内連携調整会議の開催	1 回	0 回	0.00 %	やや悪い	継続・維持	1	1.0
9 ブックスタート関連事業(健康福祉センター BCG接種時 年12回)	12 回	12 回	100.00 %	普通	継続・維持	5	4.9
10 庁内各課と協力した事業の実施(人権推進課、社会教育課他)	5 回	7 回	140.00 %	普通	継続・維持	5	5.0
11 おとなのための朗読会(西武分館 共催:小函の会)	1 回	1 回	100.00 %	良い	継続・維持	5	5.0
12 古典朗読会(藤沢分館 共催:古典の会)	10 回	12 回	120.00 %	良い	継続・維持	5	4.9
13 ボランティア団体共催の工作教室 公民館との共催事業に変更	1 回	3 回	300.00 %	良い	予定変更	5	5.0

★自己評価

評価項目番号	評価の理由
1	希望のあった学校には、すべて対応できたので、5とした。
2	希望のあった学校には、すべて対応できたので、5とした。
3	本館での8回という目標値は達成できたので、5とした。実施後の子ども達へのアンケートでは、楽しかった、図書館の仕事がよくわかった等の意見が多く、図書館や本をより身近に感じてもらえたと思う。(本館)
4	目標通り実施できているので、5とした。 昨年まで行っていた貸出や返却の業務のほかにも、おはなし会の実施や館内の飾りつけやポップの作成作業を取り入れ図書以外への興味を高め、図書館への見識を広めることができました。(西武) 中学校社会体験チャレンジは、昨年まで金子中学校のみでしたが、今年度新規に東金子中学校も受け入れました。(金子)
5	「読み聞かせについて」と「本の修理について」の2回実施し目標に達したので、5とした。
6	移動図書館車の学校巡回に当たっては、例年どおり配車できた。
7	各小学校の先生方へ配本サービスについて説明する機会など設けたことにより、定期・不定期ともに新たに利用する学校等が増えた点。
9	目標通り実施できているので、5とした。本館職員と分館職員で連携をとり、どの回も同じ内容で実施できている。
10	目標の5回「子育てフェスティバル」「平和祈念展」「環境展」「生フェス」「のんびり子育てひろばまつり」のほかにも、商工観光課共催「子ども文章のつづり方教室」、博物館共催「思い出のこしプロジェクト」も実施できたので、5とした。
11	11/23実施のため評価は割愛する。
12	古典朗読会は毎月実施できている。
13	例年夏休みに実施している「子どもえいが会」(金子公民館との共催事業)は、日程を7月から8月に変更し、保育所と学童保育室のお子さんと先生に団体で来ていただくことができたため、参加者増につながった。(金子) 今年度は、公民館との共催事業サマーキッズ教室内で「ステンドグラス教室」、「料理教室」、「JAXA宇宙教室」と3つの共催イベントを実施することができ、参加者からも満足のお声を多数いただくことができました。(藤沢)

評価項目番号	課題
1	都合により、実施しない学校が、見学・利用教室とも1校ずつあった。
2	都合により、実施しない学校が、見学・利用教室とも1校ずつあった。
3	先着順で受け付けをしているが、年々、人気が高まり、先着順では混乱をきたしている感がある。今後は、抽選方法なども検討したい。
4	中学校社会体験チャレンジは、「図書館」が第一希望の生徒がほとんどいないことが重要な課題だと考えます。(金子)
5	参加していない学校もある。(日程の関係または、過去に受講した参加者が、新しいボランティアに引き継いでいるので、参加する必要がないという理由があり、必ずしも、全校参加するべきではないと考える。)また、中学校の参加が少ない。
6	移動図書館車の配車時間が合わないため、あまり利用されない学校がある。
7	新たに利用して下さる団体は増えたが、利用するにあたって、申し込み期限が守られないなど、サービスについての周知徹底が不足していた点。
8	今年度は、組織機構の見直しもあり、具体的な担当課や会議の予定も立っていないため、1とした。
9	目標回数は12回だが、これは、BCGの接種回数である。この機会を利用して行っているため、内容的には、たくさんの赤ちゃんと保護者に話したいが、これ以上増やすことは不可能である。
12	古典朗読会は参加者が若干少ないと思われる。
13	ボランティア団体共催の工作教室は昨年度で終了している。

評価項目番号	改善点
1	早めの日程調整を心掛けているが、学校の都合もあり、市内全学校に実施するのが困難である。今後とも、学校との連携を密にとり、なるべく実施していただけるよう、呼びかけたい。
2	早めの日程調整を心掛けているが、学校の都合もあり、市内全学校に実施するのが困難である。今後とも、学校との連携を密にとり、なるべく実施していただけるよう、呼びかけたい。
3	今年度は、貸出し、返却、修理、検索を主な仕事としたが、子どもからは、読み聞かせやレファレンス、排架もやりたいとの声があった。時間の制約もあるが、今後は、希望に沿うような仕事も体験してもらえるように、検討したい。
4	中学生社会体験チャレンジに向けて、計画的に図書館の仕事を紹介し、図書館を第一希望で選択していただけるよう検討していきたいと思います。(金子)
5	盛りだくさんの内容のため、時間配分が難しい。スムーズに進行できるように、今後とも努めたい。また、内容的に、小学校中心になってしまうため、今後は中学校にもより対応するよう、努めたい。
6	学校のため、配車時間が限られるため調整するが難しい。
7	説明の際には、配本サービスの内容の説明だけでなく、利用するにあたっての規約等の説明も徹底していきたいと思う。そして、円滑に配本サービスの継続、向上を目指す。さらに、今後も利用する団体を増加させていきたいと思います。
13	公民館との共催事業について、公民館を利用しているサークルの方などのご協力を得て、今後は更に多様なイベントを実施することができればよいと考えます。(金子・藤沢)

★外部評価

評価項目番号	評価の理由
12	目標値に達しているため。

評価項目番号	課題
9	ブックスタート事業の庁内連携会議については、毎回目標として出されているのに少しも進まない。図書館の努力だけではどうにもならないのだろうか。では、なぜ会議が必要なのか。どうしたら前に進めるか考えてみる必要がある。又、連携できる所とは、一ヶ所でも話し合いを持ち、共通理解を深め合っていくことなどはできないだろうか。

重点施策別評価表

3-1 図書館網の整備・3-2 図書館施設の計画的な整備

項 目		29年度目標	達成値	達成率	事業効率性 (事業効果)	今後の方向性	自己評価	外部評価
1	システムの安定的活用(事故回数)	0 回	1 回	- %	良い	継続・維持	2	2.0
2	相互利用促進	42,300 人	36,012 人	85.13 %	良い	継続・維持	2	2.2
3	青梅市との相互利用促進	100 人	119 人	119.00 %	良い	継続・維持	5	5.0
4	西部地域まちづくり協議会図書館部 会会議の開催と情報交換に努める	3 回	3 回	100.00 %	良い	継続・維持	5	5.0
5	公共施設再整備計画に基づき、既 存施設の有効活用の観点から移動 図書館にかわる分室整備の方法を 研究	2 回	0 回	0.00 %	やや悪い	予定変更	1	1.0
6	図書館情報ネットワークシステムの 今後の方向性及び有効活用の観点 から学校図書館システムとの連携に ついての調査研究	1 回	0 回	0.00 %	やや悪い	予定変更	1	1.0
7	経年劣化によりソファー1台を更新	1 回	1 回	100.00 %	良い	継続・維持	5	5.0
8	その他の館内設備の充実を図る	1 回	1 回	100.00 %	良い	継続・維持	5	5.0

★自己評価

評価項 目番号	評価の理由
1	システムへの理解度を深め、本来望んでいた形に近づけることができた。
4	西部地域まちづくり協議会は、ほぼ予定通り開催されている。
7	本館、一般来館者コーナーのソファーの更新をすることができた。

評価項目番号	課題
1	大小様々な障害が発生してしまった。お客様へ影響が出てしまったものもある。
2	ダイヤ4市との相互利用数については、やや減少傾向にある。
3	青梅市との相互利用数については、やや減少傾向にある。
5	図書館分室開設については、公共施設マネジメントにより、凍結となっている。
6	学校図書館システムとの連携については、調査研究からスタートする必要がある。
8	分館の館内設備については、特に更新を行っていない。

評価項目番号	改善点
1	重大な障害の再発防止を徹底するために、システムエンジニアとの連絡を密に取るようにする。また、障害の他にも、予算をかけずに改善する余地が残っている。システムへの理解度をさらに深め、職員による安定的なシステム運用を目指す。

★外部評価

評価項目番号	評価の理由
3	目標値に達しているため。
8	目標値に達しているため。

評価項目番号	課題
2	目標値を下回っているが、相互利用は利用者の利便性に寄与している。